

平成30年度(2018年度)

管理事業名	安心安全事業			総合計画の体系	第6章 安全で魅力的なまちづくり 第1節 安全なまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費 (目) 26 安心安全費
部局名	総務部	予算執行所属	危機管理室		
予算大事業名 安心安全事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
事業の目的と概要 安心安全事業は、市の防犯体制の整備や防犯ボランティアの育成・支援、その他の危機管理事象の対応・対策を実施し、市民一人ひとりの願いである安心して安全に暮らせるまちづくりを安心安全に関わるすべての団体・機関とネットワークを構築し、推進します。 【主な事業】 ・安心安全の都市(まち)づくりの推進 各団体と連携し、安心安全のまちづくりを進めます ・防犯体制の整備 市青色防犯パトロールによる巡回や警察OBの防犯活動推進員による安心安全のまちづくりを推進 ・防犯環境の整備 防犯カメラの設置等防犯環境を整備することで犯罪抑止効果を高め、防犯力の向上を図ります ・防犯ボランティアの育成・支援 吹田防犯協議会や地域の青色防犯パトロール等の活動などに対して支援を実施					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
刑法犯罪認知件数	件	3,311	2,843	2,374	吹田市内の刑法犯の認知件数。警察統計のため暦年(1月から12月まで)の件数
青色防犯パトロール活動団体数	団体	12	12	12	吹田市青色防犯パトロール隊も含む
成果の説明	市や警察、防犯協議会、企業、防犯ボランティアなど安心安全に関わるすべての団体・機関と連携し、啓発活動や防犯活動の取組みを進め、平成30年の刑法犯罪の認知件数については、2,374件となりました。ピーク時の平成13年の10,416件からは約77%減り、年々減少傾向にあります。防犯活動は、継続して行うことが重要であり、防犯講座や防犯キャンペーン等の啓発活動や防犯ボランティアの育成・支援を行うことで、市民一人ひとりの防犯意識の向上や地域の防犯力の向上だけでなく、市民の安心感にもつながっています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,619	2,539	40	△2,499
経常収入 小計(a)	2,619	2,539	40	△2,499
給与関係費	44,444	49,171	43,855	△5,316
物件費	3,110	2,686	3,782	1,096
維持補修費	21	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	5,554	5,942	7,922	1,980
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	674	9,658	20,359	10,701
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,472	2,506	2,612	106
退職手当引当金繰入額	3,784	6,836	△2,270	△9,106
支払利息	-	322	693	371
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	60,058	77,120	76,953	△167
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△57,439	△74,581	△76,914	△2,332
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△57,439	△74,581	△76,914	△2,332
一般財源充当額	56,241	70,339	81,598	11,260
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△1,198	△4,243	4,685	8,927

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	43,855千円(5,316千円の減) 職員人件費、非常勤職員報酬、臨時雇用員賃金等
減価償却費	20,359千円(10,701千円の増) 防犯カメラ等に係る減価償却費。
退職手当引当金繰入額	△2,270千円(9,106千円の減)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,619	2,539	40	△2,499
行政サービス活動支出	58,186	63,735	61,548	△2,187
行政サービス活動収支差額	△55,567	△61,196	△61,508	△312
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	674	9,142	20,090	10,948
財務活動収支差額	△674	△9,142	△20,090	△10,948
収支差額 合計	△56,241	△70,339	△81,598	△11,260
一般財源充当額	56,241	70,339	81,598	11,260
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	【財務活動支出】 防犯カメラに係るリース債務返済 20,090千円(10,948千円増)
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522 人	163 円	平成31年3月31日現在の吹田市人口で算出すると、市民1人あたり207円のコストがかかっています。経常費用、人口とも前年度と比較し大差がないため、コストもほぼ横ばいとなっています。
	平成29年度	370,072 人	208 円	
	平成30年度	371,030 人	207 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	19,607	29,222	9,615
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	2,506	2,612	106
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	17,101	26,610	9,509
有形固定資産	77,085	105,425	28,339	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	92,148	106,187	14,039
建物・工作物	-	-	-	地方債	-	-	-
リース資産	77,085	105,425	28,339	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	31,648	26,589	△5,059
無形固定資産	-	-	-	リース債務	60,500	79,599	19,099
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	111,755	135,410	23,654
建物・工作物	-	-	-	純資産	△29,230	△24,545	4,685
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	5,440	5,440	-
投資その他の資産	5,440	5,440	-	出資金	5,440	5,440	-
出資金	5,440	5,440	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	82,525	110,865	28,339
資産の部合計	82,525	110,865	28,339	負債及び純資産の部合計	82,525	110,865	28,339

Ⅲ 財務構造分析

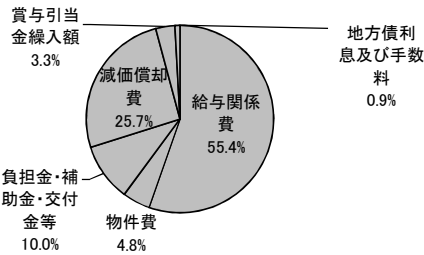
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	4人	3.67人	141日		44,198
給与関係費等	32,469千円	10,505千円	1,224千円		
内、時間外勤務手当	3,343千円				

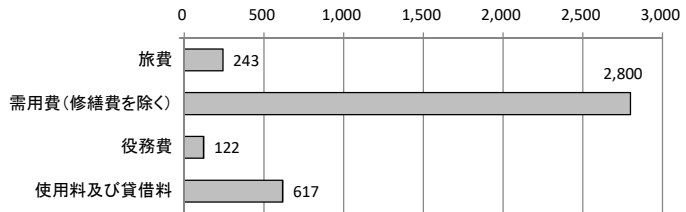
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
リース資産	105,425(28,339千円)の増 防犯カメラ及び青色防犯パトロール車に係るリース資産
リース債務	79,599千円(19,099千円)の増 防犯カメラ及び青色防犯パトロール車に係るリース債務

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		95.6	96.5	100.0	3.5

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【行政コスト計算書】【貸借対照表】
 防犯カメラ設置により、減価償却費、リース資産、リース債務が増加しました。
 【経常経費用の構成割合】
 主なものについては、防犯講座等の啓発活動や市青色防犯パトロール活動、防犯カメラ設置業務等に従事する職員の給与関係費が53.8%を占め、次に減価償却費が25.0%を占めています。また、地域青色防犯パトロール活動を行う団体や地域防犯活動を行う吹田防犯協議会に対する事業補助、事業所へのドライブレコーダー設置補助等の負担金・補助金・交付金等が9.7%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

平成28年度から3か年計画で取り組んだ防犯カメラ設置事業等により見守りの目を増やし、一定の効果は表れてはいるものの、女性や子ども、高齢者を狙った事案は後を絶ちません。「自分の身は自分で守る」ことが重要であり、市民の防犯意識を高めるために、今後も吹田警察署や吹田防犯協議会と連携し、防犯講座やキャンペーン等の啓発事業を実施するとともに、吹田警察署と連携した市青色防犯パトロール活動により、地域の防犯力の向上を図りながら、より効果的な事業展開ができるよう努めてまいります。